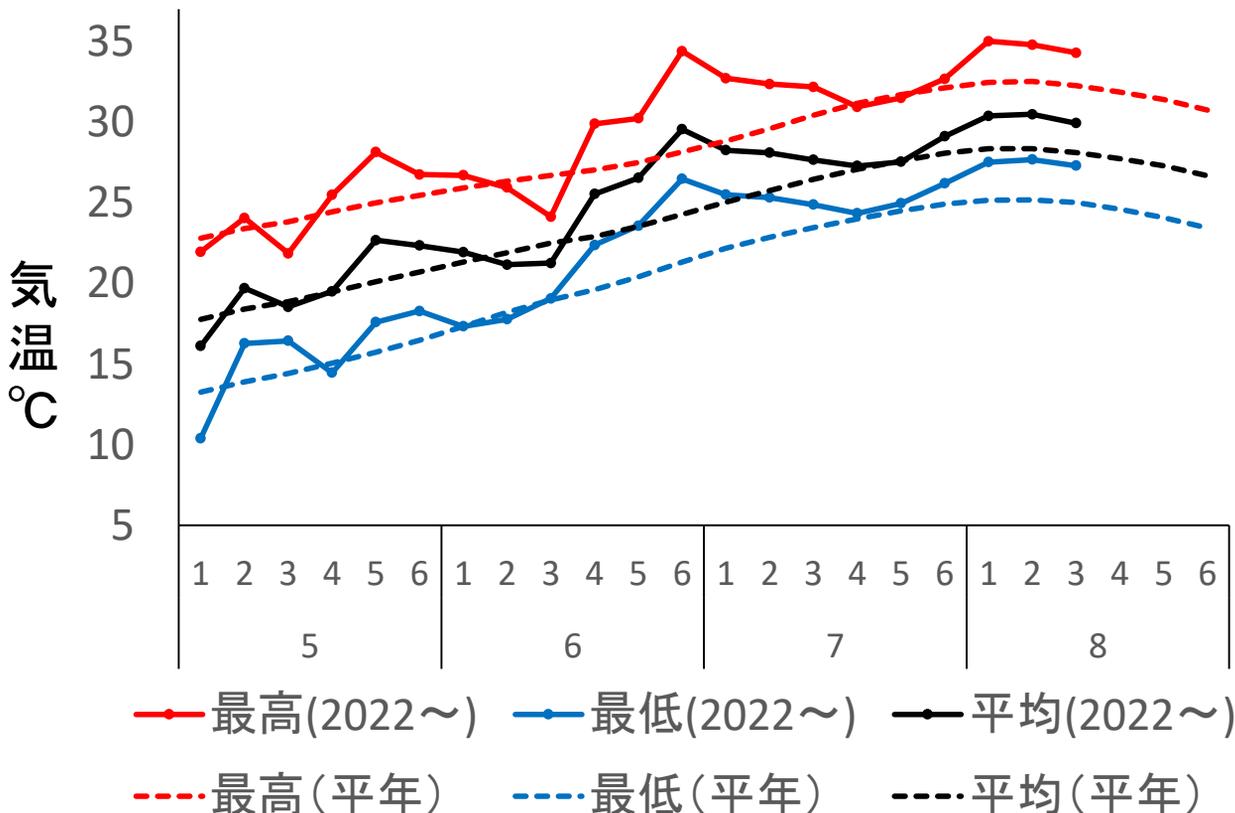


## 普通期水稲の収穫について

### 1. 生育概況

6月中旬～7月上旬の気温が平年より高かったため、出穂が平年より早く、収穫期が早くなる見込みです。下表を参考に収穫予定を組んでください。なお、「元気つくし」の収穫適期予想は、9月上旬頃情報を出す予定です。

～～～気象データ(R4.5月1半旬～8月3半旬):八幡アメダスより～～～



### 収穫適期予想(夢つくし)

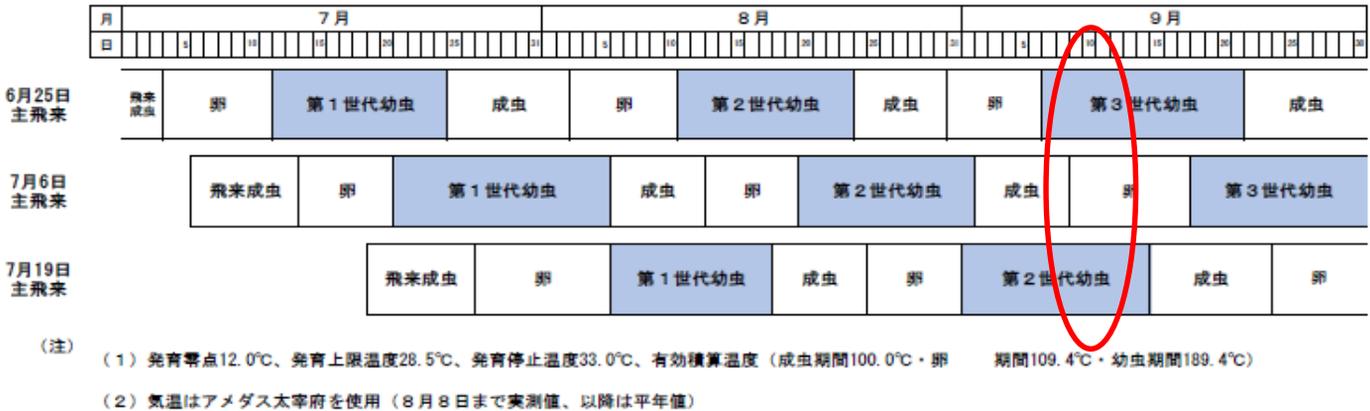
品種	田植え日	出穂期	収穫期予想(早限～晩限) (積算気温の範囲時期)	出穂期後 積算気温
夢つくし	5月20日	7月27日	8月27日～9月1日	850～1050°C
	5月26日	8月1日	9月1日～9月7日	
	6月3日	8月5日	9月6日～9月12日	
	6月10日	8月9日	9月10日～9月17日	

※八幡アメダスデータを用いた、一般的なほ場での収穫予想です(8月16日以降は平年値を使用)。今後の天候次第では、予想が変わることもありますので、実際の判断は圃場ごとに行いましょう。

# トビイロウンカ、カメムシの防除について

## 【トビイロウンカ】

福岡県病害虫防除所が行った8月2半旬調査の結果では、発生量は前年、平年より少ない状況で推移しています。しかし、トビイロウンカは、使用した箱施薬剤や田植え時期により、発生状況が異なります。イネの株元を観察し、必要であれば(8月下旬の要防除水準は1頭/株)下表の○で囲った時期(幼虫の時期)に補正防除を行いましょう。



飛来に基づくトビイロウンカ発生予想パターン図 (令和4年8月9日作成)

## 【カメムシ類】

ミナミアオカメムシの発生量について、遠賀町では平年の約10倍と、かなり多く推移しており注意が必要です(下表)。イネカメムシについて、防除所の調査では5~8月の期間に遠賀町で3頭確認していますが、現地では多数確認しています。穂揃い期から乳熟期にかけて加害されると斑点米の原因となるので、必要に応じて補正防除を行いましょう。

月	遠賀町		県内5地点合計	
	本年	平年	本年	平年
5	2	2.1	36	15.0
6	104	1.2	142	18.5
7	566	56.3	751	105.8
8	7	4.3	73	62.0
合計	679	63.9	1,002	201.3

ミナミアオカメムシの予察灯誘殺状況 福岡県病害虫防除所より(8/9時点)

### ◆防除薬剤(10a当たり) 対象病害虫:ウンカ類、カメムシ類

- ・粉剤: アルバリン粉剤DL 3kg/10a(収穫7日前まで)
- ・液剤: アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍、希釈水量150ℓ/10a(収穫7日前まで)
- ・粒剤: スタークル豆つぶ 250g(収穫日7日前まで)